

令和7年度教員長期研修  
研修科目 算数科教育

「めざす子供像」に向かう協働的な学校教育活動の推進に関する研究  
—資質・能力系統表と具体的な子供の姿をつなぐマネジメントサイクルの活用を通して—

尾道市立向島中央小学校  
村上 友紀

# はじめに

## 所属校の学校教育目標は？

心豊かで 確かな力をもち たくましく生きる子どもの育成

## 所属校で育成を目指す資質・能力は？

気付く力

つかう力

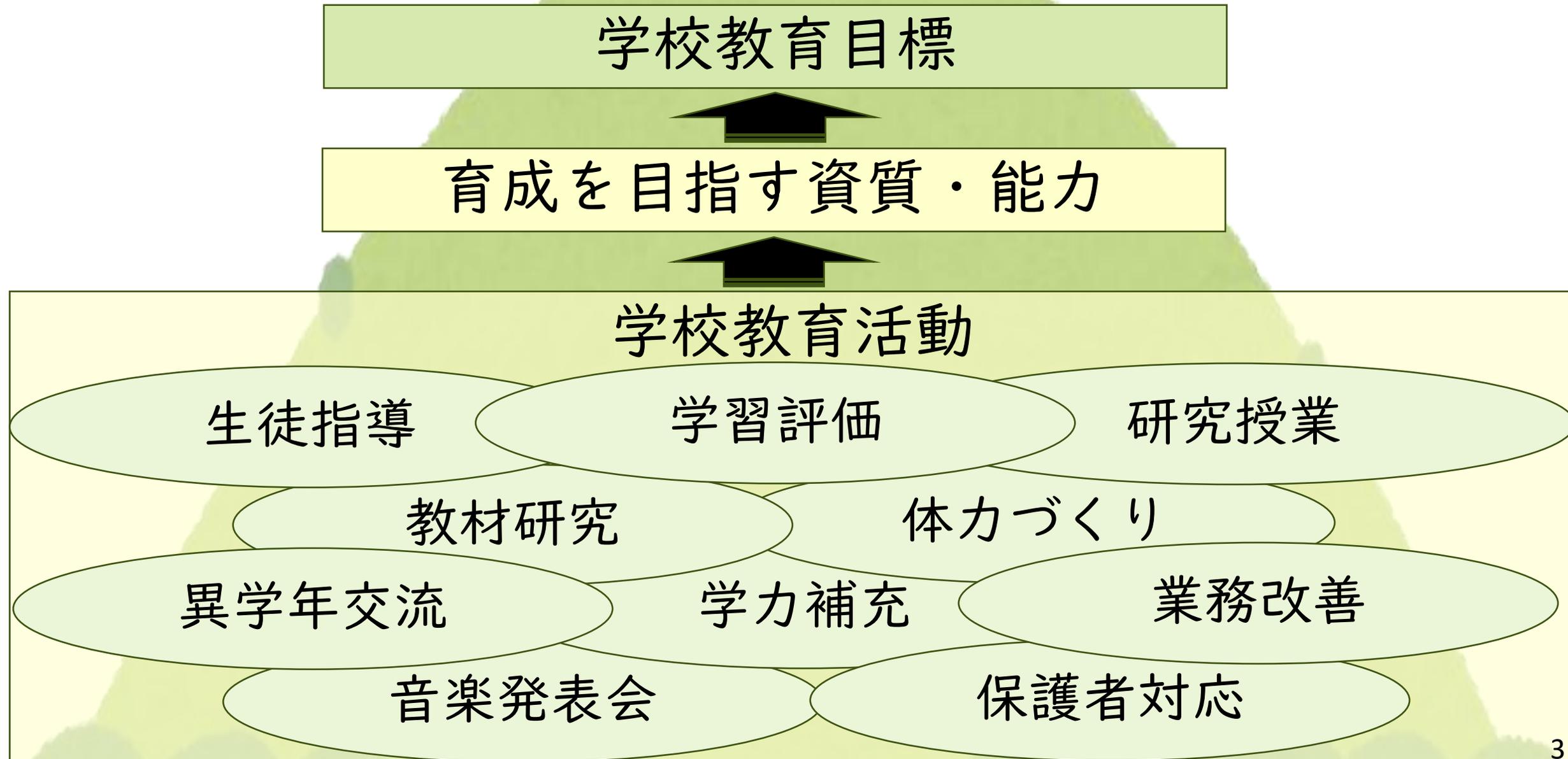
挑戦する力

表す力

これらを実現した  
子供の姿とは？



# はじめに



# はじめに

学校教育目標

育成を目指す資質・能力

学校教育活動

生徒指導

学習評価

研究授業

教材研究

体力づくり

異学年交流

学力補充

業務改善

音楽発表会

保護者対応

つながりが見えない

# はじめに

学校教育目標

育成を目指す資質・能力

多様な  
取組方法

個人や学年間で  
差が生じる

幅広い  
経験年数

異動による  
勤務年数の違い

# はじめに

目標の  
明確化

学校教育目標

育成を目指す資質・能力

同じ方向に  
向かった  
取組へ

幅広い  
経験年数

異動による  
勤務年数の違い

# はじめに

## SWOT分析

### 自分自身の現状

#### 【強み (S)】

- ・研究熱心である。
- ・教職員が日々の実践の効果を感じたり、取組の整理や重点化によって業務改善がなされたりするために、学校教育活動と資質・能力とのつながりを整理したいという思いがある。

#### 【弱み (W)】

- ・スケジュール管理・タイムマネジメントに課題がある。
- ・こだわりが強いために、自分一人で考え込んで人に任せられなかったり、頼むタイミングが遅れたりして、協働的な取組の推進につなげられない。
- ・評価・検証・改善の視点でサイクルを回すことが弱い。

#### 【機会 (O)】

- ・所属校に8年勤務し、令和2年度中学校区でカリキュラム・マネジメントの研究指定を受けた際も在籍しており、現在の資質・能力が設定された経緯や、現在までの変遷を知っている。
- ・研究主任を4年間経験したことで、学校評価や校内研究に係る評価・改善について考え、参画する機会を多くもった。
- ・教員長期研修で、文献研究等、新たな知識を得る機会がある。

#### 【脅威 (T)】

- ・所属校ではほとんどを教育研究部に所属しており、他部会の提案には関わりが少ない。
- ・会議や研修時間に限りがある。
- ・つなぎ役である同じミドル世代が少ない。
- ・所属校勤務8年目で、考えの柔軟さに欠ける部分がある。

## ミドルリーダーとして

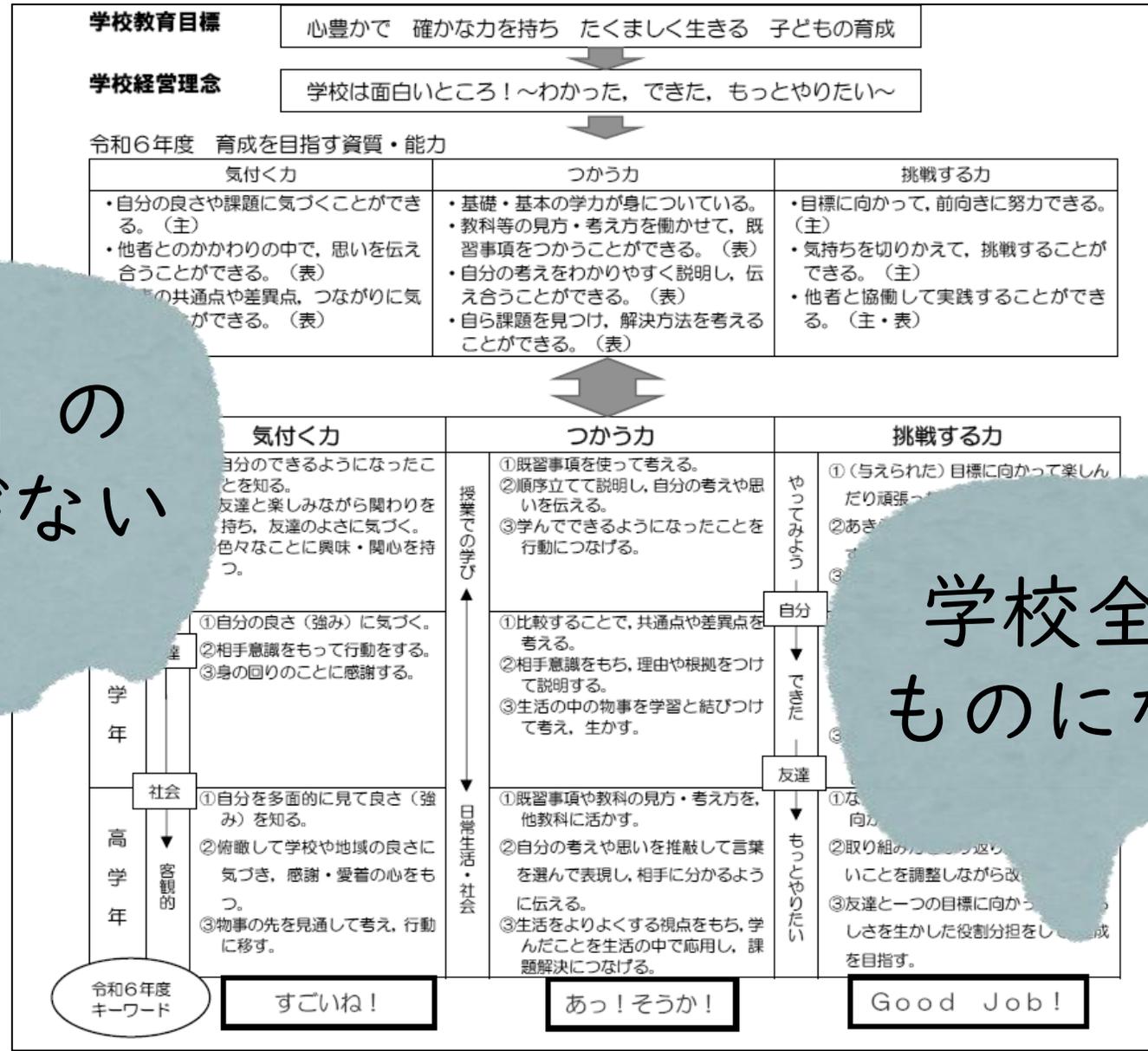
任せる

評価・改善  
の視点

共通認識  
を生む

# はじめに

## 令和6年度



「表す力」の位置付けがない

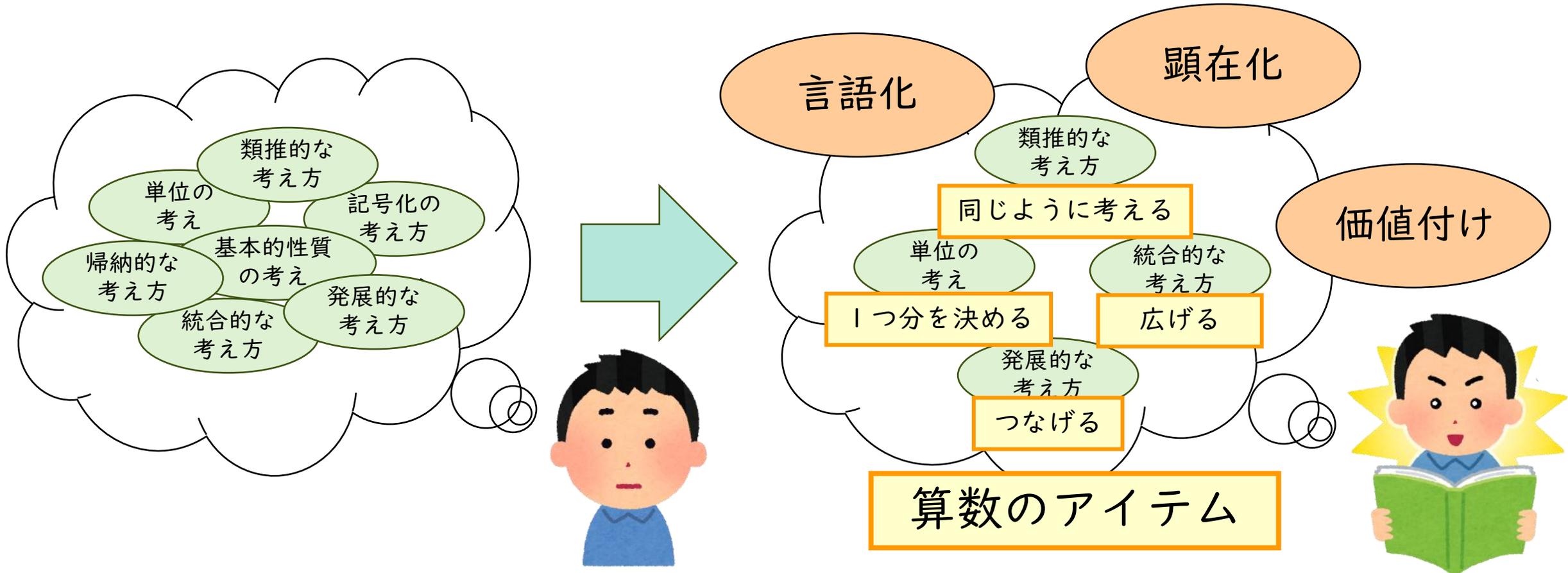
学校全体で共通のものになっていない



# はじめに

## 教員長期研修 前期研究

数学的な見方・考え方を豊かで確かなものとする算数科学習指導の工夫  
—見通しと振り返りにおける「算数のアイテム」の活用を通して—



# はじめに

学校教育目標



育成を目指す資質・能力

気付く力

つかう力

挑戦する力

表す力

言語化

顕在化

価値付け



# はじめに

## 目標の明確化

## 令和8年度版 資質・能力 系統表

子供の  
具体的な  
姿

ずれ

顕在化

言語化

令和7年度版  
資質・能力  
系統表  
(表す力を含む)

子供の  
具体的な  
姿

子供の  
具体的な  
姿



# 研究主題

---

「めざす子供像」に向かう協働的な学校教育活動の推進に関する研究  
—資質・能力系統表と具体的な子供の姿をつなぐマネジメントサイクルの活用を通して—

# 1 研究の基本的な考え方

「めざす子供像」

つなぐ

「具体的な子供の姿」

資質・能力系統表に示す  
子供の姿

各種行事等において、一人  
一人の教職員の実践を通し  
て見られる実際の子供の姿

小学校学習指導要領解説 総則編

## 4 カリキュラム・マネジメントの充実

イ カリキュラム・マネジメントの三つの側面を通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと

(ア) 教育の目的の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと

(イ) 教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと

# I 研究の基本的な考え方

## 協働の四つの要件：Lorraine, S. (2004)

「共通目標 (common goals)の下で、成員が目標達成に向け相互にコミットし (interdependence)、立場の違いがあっても教育活動に対して同等の貢献が各々の立場からできるという対等な関係 (parity or equality)の中で、主体的に目標に向け参加していくこと (voluntary participation)」

訳：小田郁予(2023)「子ども支援をめぐる教師間協働における多様な役割遂行—立場や経験の異なる教師間の協働はどう達成されたか—」

「めざす子供像」

一人一人の実践

見直し

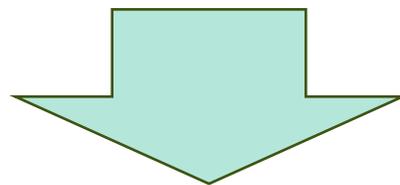
協働文化の  
醸成

対等な貢献の実感

主体的な参加

# 1 研究の基本的な考え方

「めざす子供像」に向かう  
協働的な学校教育活動の推進



年齢や経験が異なる教職員集団が一人一人の実践に基づいて「めざす子供像」という共通目標を明確にするとともに見直し、教職員の合意形成を図って更新しながら学校教育活動を進めること

## 2 研究の進め方

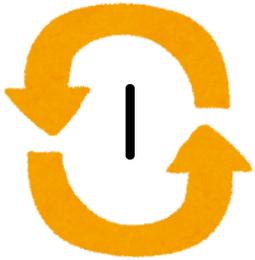
### ポイント

- ①全体計画（サイクル1・2・3）
- ②取組・反省シート
- ③資質・能力評価改善研修

## 2 研究の進め方 ①全体計画

所属校の  
計画を基に

子供の姿での  
評価・改善を仕組化



	マネジメント サイクル	内容	筆者のかかわり	場の設定	
11月	サイクル1	Plan	後期研究趣旨説明 趣旨説明プレゼン 取組・反省シート、 資質・能力系統表 (Phase 1) の提案	管理職・主任・主事会	
		Do	音楽発表会取組	授業観察	授業等
		Plan	後期研究趣旨説明	趣旨説明プレゼン 取組・反省シート提案	校内研修
		C	音楽発表会反省	担当者と反省シートの様式改善・相談	学年会
		A	音楽発表会部会反省	記録者として参加 反省シートの内容の 検証・通信の発行	生徒指導部会

# 2 研究の進め方

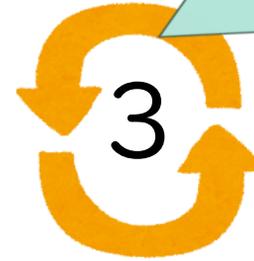
## ①全体計画



主任・主事中心  
各部会でPDCA



同様に



主任・主事主導  
の動きへ



12月	サイクル2	<b>P</b>	第2学期行事等計画	事前に主任・主事と打合せ、取組シートの作成相談	3部会
		<b>D</b>	第2学期取組 ・お楽しみ会 ・学力テスト ・体力づくり	授業観察	行事・授業等
		<b>C</b>	各取組反省 各部会反省	担当者と連携、反省シートへの記入内容の検証・通信の発行	学年会 3部会
		<b>Check Action</b>	第2学期末資質・能力評価改善研修	研修担当 第2学期分の反省シートの集計 各部主事と事前連携	校内研修
		<b>A</b>	第3学期提案行事等計画書作成	新たな資質・能力系統表の作成	3部会
		Plan			

1月 2月	サイクル3	<b>Action</b>	第3学期提案行事等計画書作成	事前に主任・主事と打合せ、取組シート作成相談	3部会
		<b>P</b>	第3学期取組 ・異学年交流 ・校内授業研究 ・体力づくり	授業観察	行事・授業等
		<b>D</b>	各取組反省 各部会反省	担当者と連携、反省シートへの記入内容の検証・通信の発行	学年会 3部会
		<b>C</b>	年度末資質・能力評価改善研修	研修担当 2学期分の反省シートの集計 各部主事と事前連携	校内研修
		<b>Check Action</b>	令和8年度版資質・能力系統表完成 次年度提案行事等計画書作成	校内研修を受けて、令和8年度版資質・能力系統表作成	管理職・主任・主事会 3部会
		<b>A</b>	Plan		

# 2 研究の進め方

## ②取組・反省シート

**音楽発表会**      取組・反省シート      **教職員用**

1 目的 ★提案者記入  
 ~~~~~みんなと協力して作り上げる

2 めざす子供像 ★提案者記入

|       |                                                              |
|-------|--------------------------------------------------------------|
| 気付き力  | 合奏や合唱の練習を通して、自分や仲間の成長を振り返ったり感じたりしながら、自分がかんばったことに自信をもつことができる。 |
| つかう力  | 発表会までに学んだことを生かして、見てくれている人に自分たちの思いや気持ちを伝えることができる。             |
| 挑戦する力 | 学年で取り組むことに、自分なりのめあてをもち、進んで取り組むことができる。                        |
| 表す力   | 音楽を通して、集団の中で一人一人の思いを一つにして、見てくれる人に思いや気持ちを伝えることができる。           |

3 学年でめざす子供像 (〇年生) ★学年で記入

|       |                                        |                                                                       |
|-------|----------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| 気付き力  | ともだちやじぶんがかん                            | 全体計画で示されたものを、担当学年の実態や内容に合わせて、児童にも示すことができる表現でより具体的に、到達度を評価する際の評価規準となる。 |
| つかう力  | よいしせい、大きなこえ                            |                                                                       |
| 挑戦する力 | できるまで                                  |                                                                       |
| 表す力   | 1ねんせいみんなのうたやがっそうで、おきやくさんをたのしませることができる。 |                                                                       |

----- 【取組後】 -----

4 行事で見られた子供の姿 ★学年で記入

目指していた姿に対して、どうだったかを中心に振り返る。  
 その他、想定を超えたよい姿や、明らかになった課題も記入。

5 達成度 ★学年で記入

| 資質・能力 | 達成度  |      | 気付き                                         |
|-------|------|------|---------------------------------------------|
|       | 児童評価 | 教師評価 |                                             |
| 気付き力  |      |      | 評価にあたって、児童教師間や担任間でのすれや、目標設定についての気付きや難しさを記入。 |
| つかう力  |      |      |                                             |
| 挑戦する力 |      |      |                                             |
| 表す力   |      |      |                                             |

【児童】肯定的評価数 1 90~100% 2 70~89% 3 30~69% 4 0~29%  
 【教師】教師の見取り 1 達成できた 2 だいたい達成できた 3 あまり達成できなかった 4 達成できなかった

6 取組内容 ★学年で記入

| 良かった手立て | 日程・実施方法 | その他                                             |
|---------|---------|-------------------------------------------------|
|         |         | 子供の姿に対して、取り組んだ手立てや、実施方法が有効であったか、改善すべき点は何かを記入する。 |

**中央っこふりかえりシート**      **児童用**

( )年( )組 名前( )

**【がんばる行事】**  
**音楽発表会**

※低・中・高学年用など、児童実態に合わせて書く欄の大きさ調整が必要

【 音楽発表会      だめさ姿      】      ★学年で記入

|       |                                          |
|-------|------------------------------------------|
| 気付き力  | ともだちやじぶんがかんばったことにきづくことができる。              |
| つかう力  | よいしせい、大きなこえで、れんしゅうしてきたことを、はっぴょうすることができる。 |
| 挑戦する力 | できるまであきらめずにれんしゅうをやりきることができる。             |
| 表す力   | 1ねんせいみんなのうたやがっそうで、おきやくさんをたのしませることができる。   |

※各学年教職員用シートとリンクしているため、記入不要。字が入っているかは要確認。

↓

★児童が記入

それぞれの目標をたてよう!

| 気付き力 | つかう力 | 挑戦する力 | 表す力 |
|------|------|-------|-----|
|      |      |       |     |

↓

★児童が記入 (〇をつける)

振り返ってみよう!

|       |       |     |           |        |
|-------|-------|-----|-----------|--------|
| 気付き力  | よくできた | できた | あまりできなかった | できなかった |
| つかう力  | よくできた | できた | あまりできなかった | できなかった |
| 挑戦する力 | よくできた | できた | あまりできなかった | できなかった |
| 表す力   | よくできた | できた | あまりできなかった | できなかった |

【がんばったことを書きましょう】 ★児童が記入

学校評価にかかわる取組(教育研究、異学年交流、体力づくり)では、このシートを用いて振り返りに取り組む。

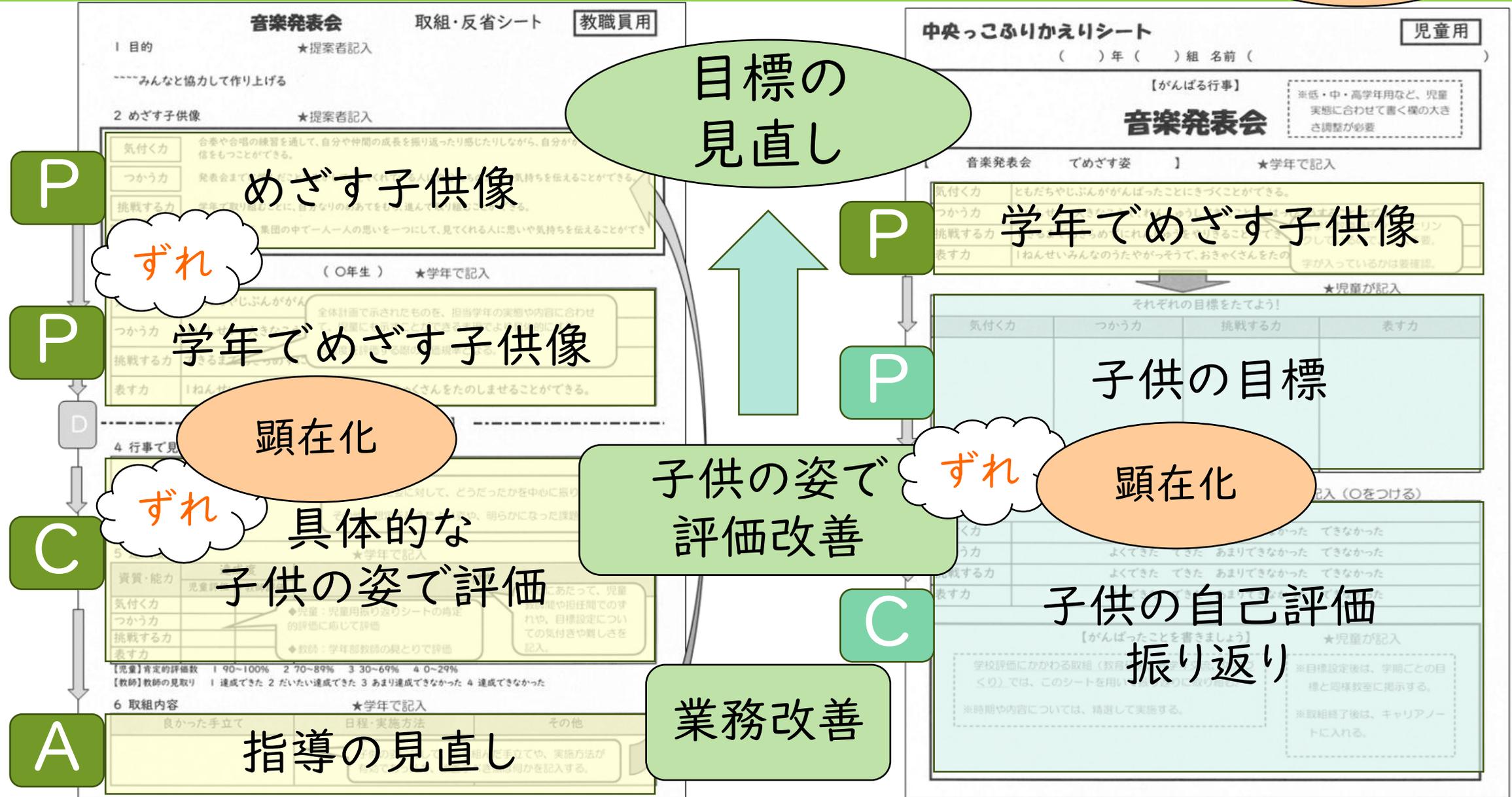
※時期や内容については、精選して実施する。

※目標設定後は、学期ごとの目標と同様教室に掲示する。  
 ※取組終了後は、キャリアノートに入れる。

# 2 研究の進め方

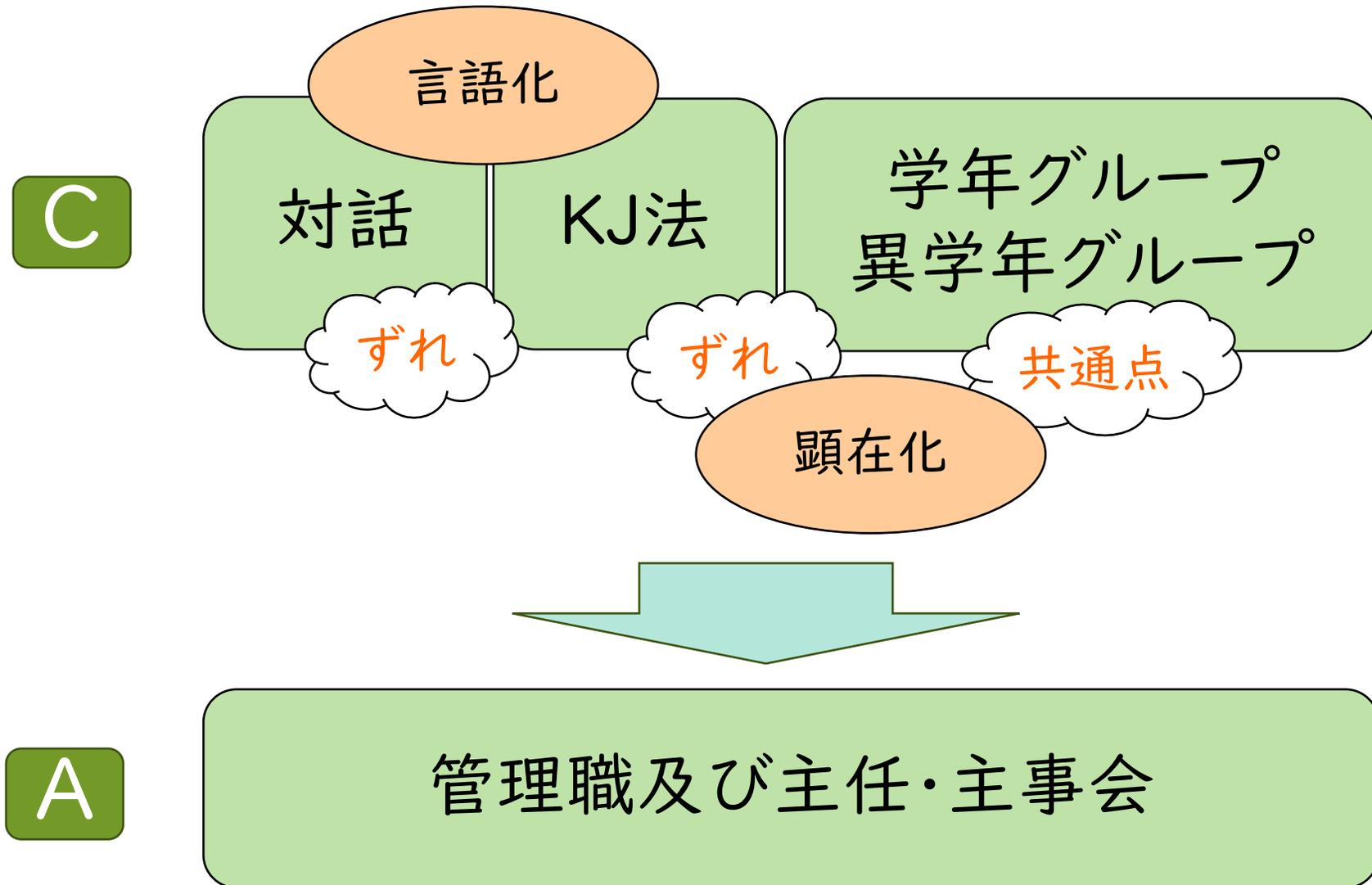
## ②取組・反省シート

言語化

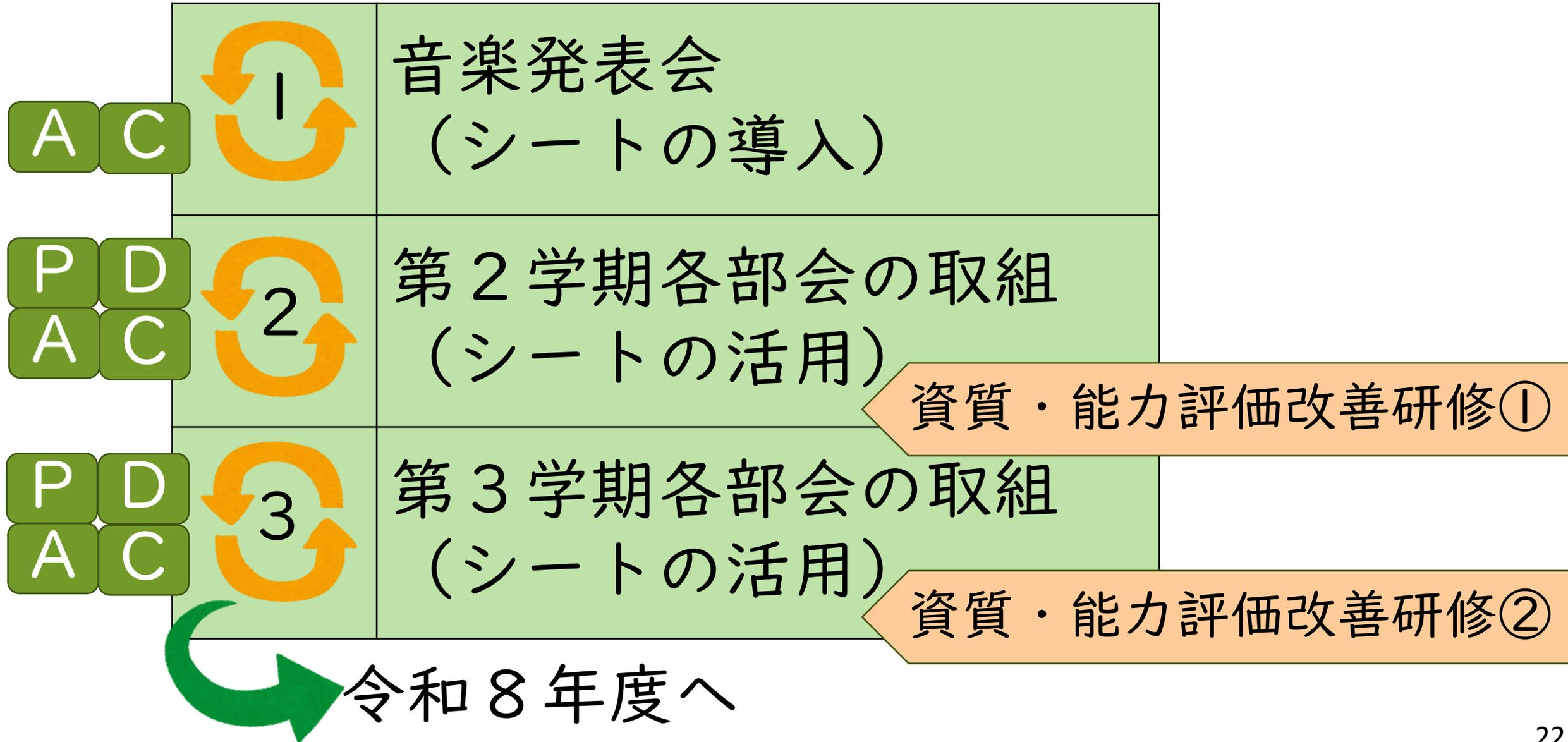


## 2 研究の進め方

### ③資質・能力評価改善研修



## 2 研究の進め方



# 3 取組の実際 サイクル① → サイクル 2 → サイクル 3

## 取組・反省シート 【音楽発表会】

| 資質・能力       | 2年生                                                                                                                              | 4年生                                                                                                            | 5年生                                                                                |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 気付く力        | 2                                                                                                                                | 1                                                                                                              | 2                                                                                  |
| つかう力        | 2                                                                                                                                | 1                                                                                                              | 3                                                                                  |
| 挑戦する力       | 2                                                                                                                                | 2                                                                                                              | 3                                                                                  |
| 表す力         | 2                                                                                                                                | 2                                                                                                              | 3                                                                                  |
| 気付き         | 取り組み方に個人差がある。                                                                                                                    | パートリーダーを中心に自分たちで声をかけあって練習したり、音を合わせたりする姿がもっとあれば良かった。<br>全力で取り組んでいる児童とそうでない児童の差が見てはつきりしていた。                      | 資質・能力を伸ばそうと努力する児童と、この程度でいいと思っている児童に差がある。                                           |
| 行事で見られた子供の姿 | 同じ楽器の友達と一緒に練習することを通して、自分のパートに自信をもって演奏することができた。<br>仲間と協力して練習することで、自信をもって演奏することができた。<br>きれいな歌声で歌うことをめあてに、一人一人が思いをもって合唱に取り組むことができた。 | オーディションに落選し、自分の本当にやりたかった楽器ではなかった児童も切り替えて自分の任された楽器に責任をもって取り組んだ。<br>アドバイスされたことを実行し、次に生かすことができた。                  | 発表会に向けて、自主的に練習している児童がいた。そろそろかっこいいということを実感できていた。<br>自分たちでよりよくしていこう、進めていこうという意識が少ない。 |
| 良かった手立て     | 録音をして客観的に自分たちの音楽を聴けたこと。<br>体操をして体を温めた。                                                                                           | 学級担任以外の先生方にも聞いていただき、よかったところや改善点を伝えたこと。<br>パートリーダーを決めて、その児童を中心に練習を進めていったこと。<br>自分の楽器だけではなく、周りの音にも耳を傾けるように促したこと。 | 見通しをもたせること。<br>お互いに鑑賞し合うこと。                                                        |
| 日程・実施方法     | よい。                                                                                                                              | 職員全員が分かるような共有の仕方の検討。                                                                                           | よい。                                                                                |
| その他         | 特になし。                                                                                                                            |                                                                                                                | 特になし。                                                                              |

# 3 取組の実際 サイクル1 → サイクル2 → サイクル3

## 取組・反省シート【音楽発表会】

| 資質・能力       | 2年生                                                                                                                              |                                                                                                               | 5年生                                                                                        |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 気付く力        | 2                                                                                                                                | 言語化                                                                                                           | 2                                                                                          |
| つかう力        | 2                                                                                                                                |                                                                                                               | 3                                                                                          |
| 挑戦する力       | 2                                                                                                                                |                                                                                                               | 3                                                                                          |
| 表す力         | 2                                                                                                                                |                                                                                                               | 3                                                                                          |
| 気付き         | 取り組み方に個人差がある。                                                                                                                    |                                                                                                               | パートリーダーを中心に自分たちで声をかけあって練習したり、音を合わせたりする姿がもっとあれば良かった。<br>全力で取り組んでいる児童とそうでない児童の差が見てははっきりしていた。 |
| 行事で見られた子供の姿 | 同じ楽器の友達と一緒に練習することを通して、自分のパートに自信をもって演奏することができた。<br>仲間と協力して練習することで、自信をもって演奏することができた。<br>きれいな歌声で歌うことをめあてに、一人一人が思いをもって合唱に取り組むことができた。 | オーディションに落選し、自分の本当にやりたかった楽器ではなかった児童も切り替えて自分の任された楽器に責任をもって取り組んだ。<br>アドバイスされたことを実行し、次に生かすことができた。                 | 発表会に向けて、自主的に練習している児童がいた。そろそろかっこいいということを実感できていた。<br>自分たちでよりよくしていこう、進んでいこうという意識が少ない。         |
| 良かった手立て     | 録音をして客観的に自分たちの音楽を聴けたこと。<br>体操をして体を温めた。                                                                                           | 学級担任以外の先生方にも聞いていただき、よかったところや改善点を伝えたこと。<br>パートリーダーを決めて、その児童を中心に練習を進めていったこと。<br>自分の楽器だけでなく、周りの音にも耳を傾けるように促したこと。 | 見通しをもたせること。<br>お互いに鑑賞し合うこと。                                                                |
| 日程・実施方法     | よい。                                                                                                                              | 職員全員が分かるような共有の仕方の検討。                                                                                          | よい。                                                                                        |
| その他         | 特になし。                                                                                                                            |                                                                                                               | 特になし。                                                                                      |

D

音楽発表会取組



C

取組・反省シート

児童の頑張る姿  
教職員が目指していた姿の評価

指導の改善策には至らない



A

生徒指導部会振り返り

課題の共有と  
改善策の部会検討は未実施

# 3 取組の実際 サイクル 1 → サイクル 2 → サイクル 3

保健体育部

**P** 第2学期体力づくり計画

部会に参加 ファシリテート

言語化

ずれ

顕在化

**D** 取組実施

目標の焦点化

**C** 取組・反省シート

**P** 第3学期計画

**A** 部会振り返り

取組・反省シートでの評価と部会での振り返りは未実施

# 3 取組の実際 サイクル 1 → サイクル 2 → サイクル 3

生徒指導部

生徒指導主事連携

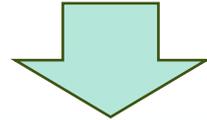
P

第2学期お楽しみ会計画

言語化

ずれ

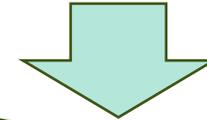
顕在化



D

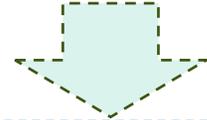
取組実施

目標の捉え直し



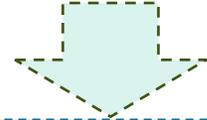
C

取組・反省シート



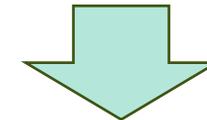
A

部会振り返り



A

児童会による  
事前準備実施



延期



# 3 取組の実際 サイクル 1 → サイクル 2 → サイクル 3

## P 第2学期お楽しみ会計画

取組・反省シート【第2学期お楽しみ会】  
「学年でめざす子供像」の一部

|      | 気付く力                                                       | つかう力                                            | 挑戦する力                                             | 表す力                                                                   |
|------|------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|---------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| 第2学年 | 5・6年生が<br>じゅんびしてく<br>れたことに気づ<br>くことができる。                   | じゅん番やル<br>ールをまもって<br>楽しく活どうす<br>ることができる。        | わからないこ<br>とは上きゅう生<br>に聞くことが<br>できる。               | かんしゃのき<br>もちをことばや<br>たいどであらわ<br>すことができる。                              |
| 第3学年 | 5・6年生が<br>じゅんびしてく<br>れたことに気づ<br>き、感謝の気持<br>ちをもつことが<br>できる。 | じゅん番やル<br>ールをまもって<br>楽しく活どうす<br>ることができる。        | まわりのよう<br>すを見て、困っ<br>ている下級生が<br>いれば助けるこ<br>とができる。 | 5・6年生に<br>感謝の気持ちを<br>伝えたり、一緒<br>に参加する子ど<br>もにやさしいこ<br>えをかけたりで<br>きる。  |
| 第4学年 | 5・6年生に<br>感謝の気持ちを<br>持ちながら行動<br>することができる。                  | ルールを守り<br>ながら他学年と<br>協力して活動に<br>取り組むことが<br>できる。 | 困っている下<br>級生を助けるな<br>ど、積極的に他<br>学年と関わるこ<br>とができる。 | 5・6年生に<br>感謝の気持ちを<br>伝えたり、困っ<br>ている児童にや<br>さしく声をかけ<br>たりすることが<br>できる。 |

言語化

目標の設定  
は大切。



系統性を  
踏まえた設定

自分が思うものとは  
違うけど、合わせよう。

ずれが  
顕在化しない



# 3 取組の実際 サイクル 1 → サイクル 2 → サイクル 3

保健体育部



生徒指導部

主任・主事と  
事前に連携

**P** 第3学期体力づくり計画

**P** 6年生を送る会計画

教職員インタビューより

年度途中の変更

記入の時間確保

言語化の難しさ

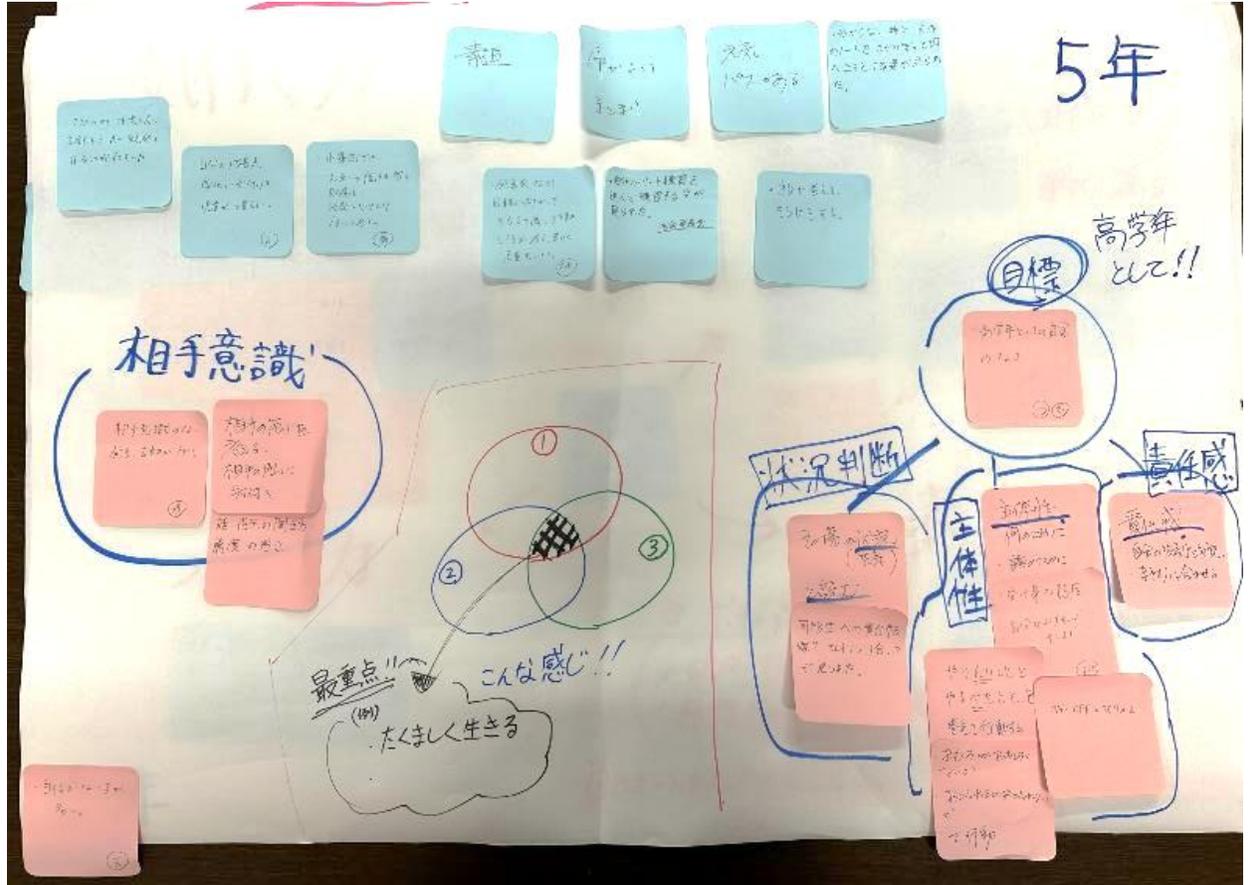
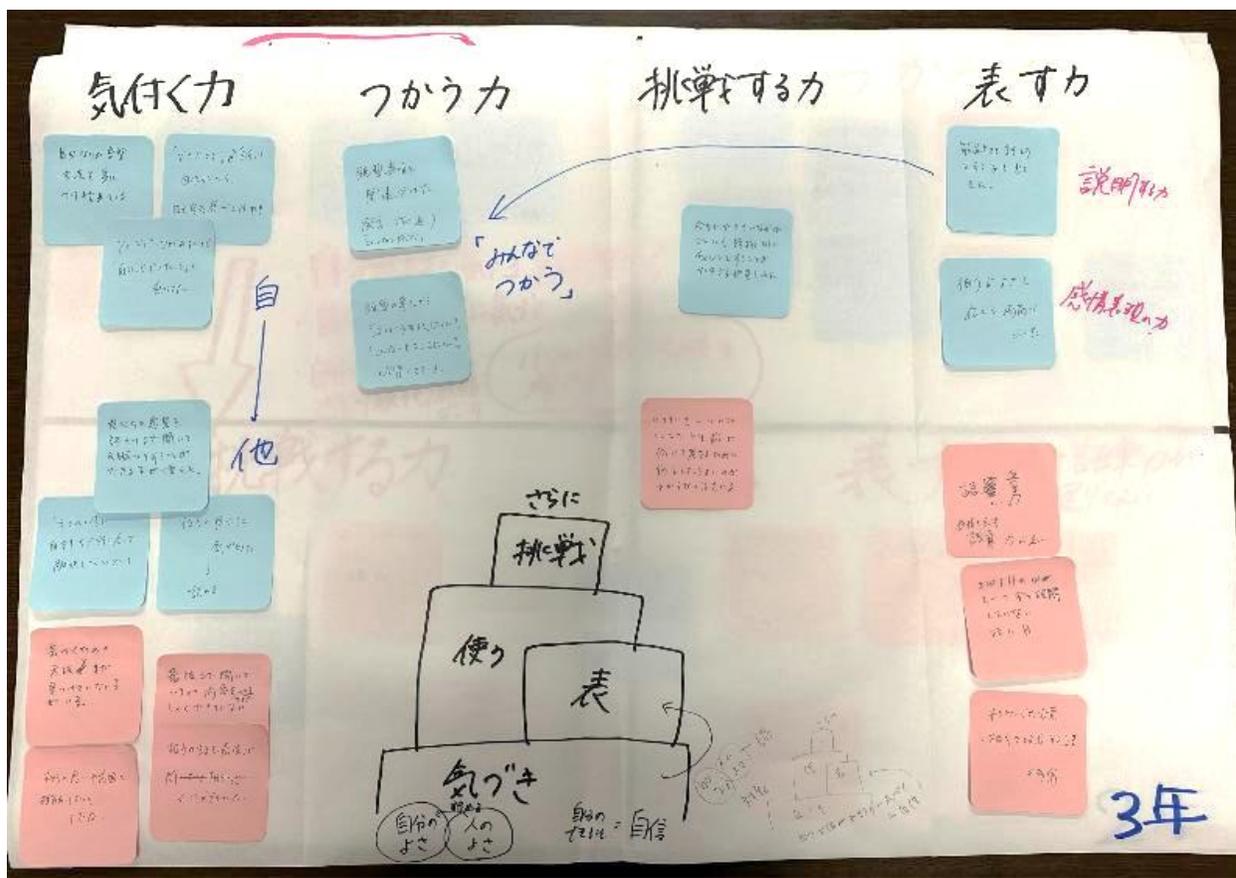
意義の不明瞭さ

**負担感**



# 3 取組の実際 資質・能力評価改善研修

## C 資質・能力評価改善研修



# 3 取組の実際 資質・能力評価改善研修

言語化

## C 資質・能力評価改善研修

気付き力    つかう力    挑戦する力    表す力

四つのカベース階層の捉え

相手意識

状況判断

3年

子供の姿から付けたたい力をキーワード化

ずれ

ずれ

ずれ

顕在化

子供の話ができてよかった。



子供らの弱みが見えた。定期的にやりたい。

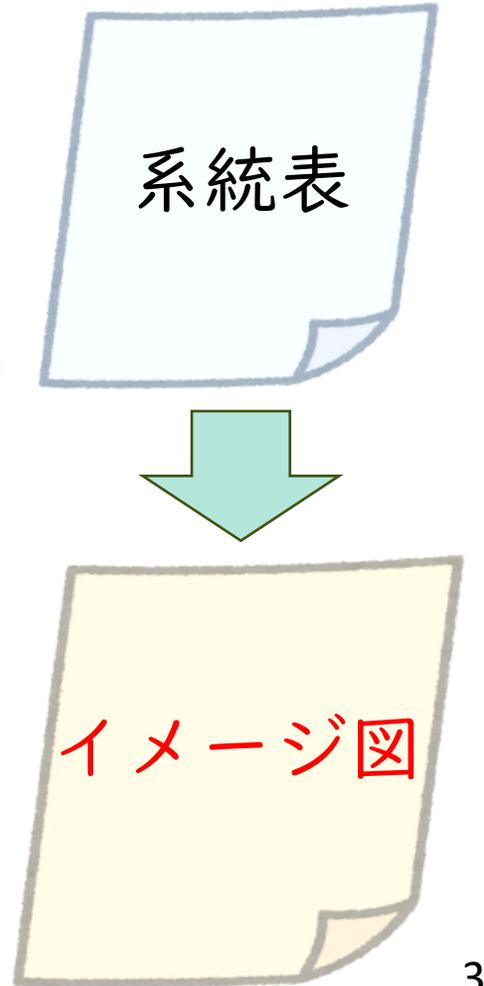
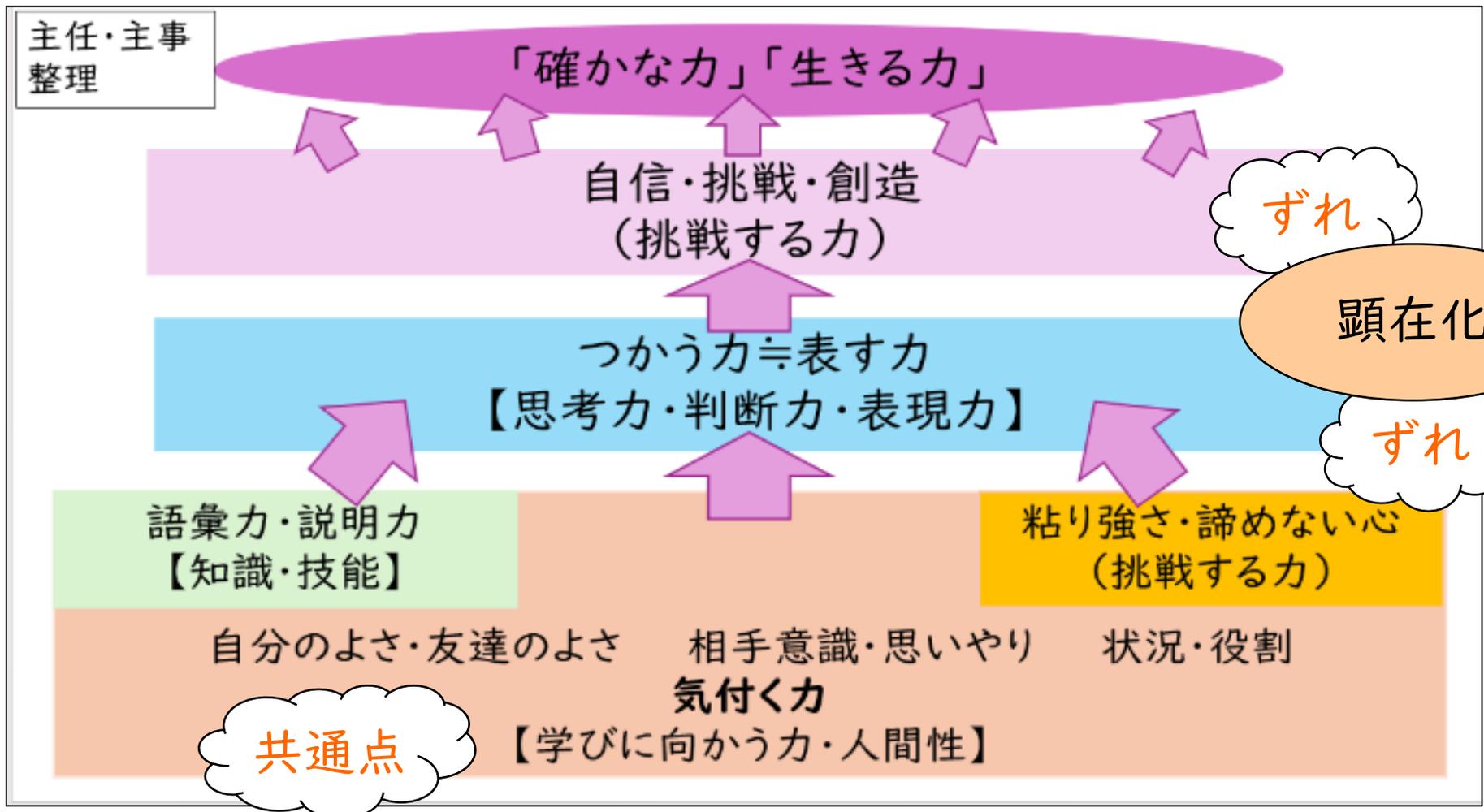


資質・能力はシンプルにしたい。

# 3 取組の実際 資質・能力評価改善研修

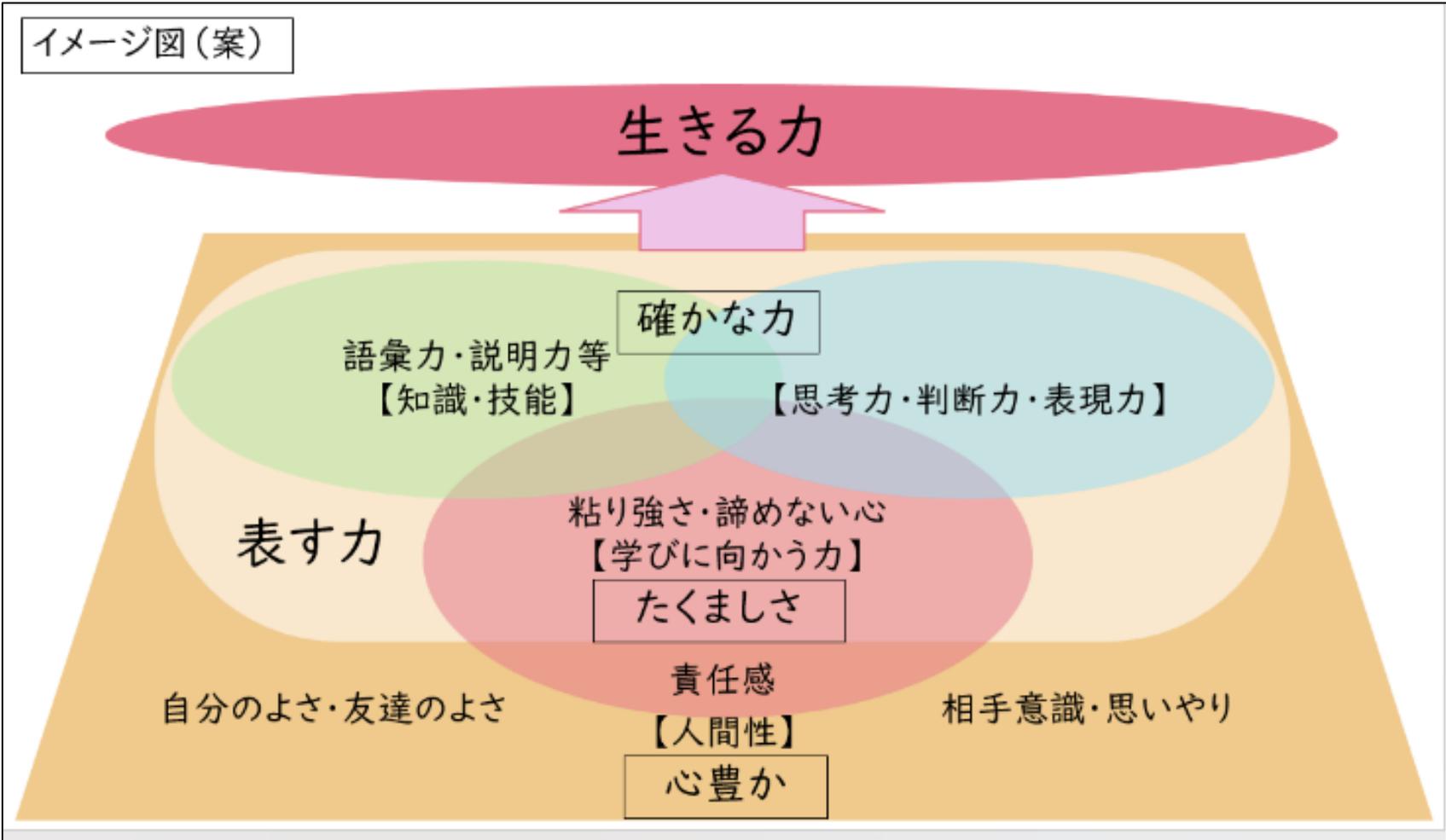
## A 管理職及び主任・主事会

教職員の言葉を大切に整理



# 3 取組の実際 資質・能力評価改善研修

## A 管理職及び主任・主事会



前年踏襲の  
表記を避ける

新たなキーワード  
設定の提案

通信にて  
教職員と共有

# 4 研究のまとめ

# 成果と課題

言語化

顕在化

具体的な姿

具体的な姿

ずれ

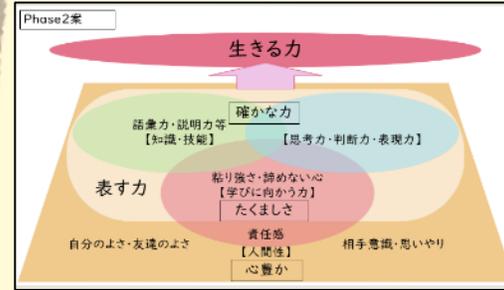
具体的な姿

ずれ

The image shows a screenshot of a school curriculum document. It includes sections for 'School Education Objectives', 'School Education Philosophy', 'Learning Objectives', and 'Learning Standards'. The document is annotated with arrows and callouts. A cloud labeled '具体的な姿' (Concrete Appearance) points to the 'Learning Objectives' section. Another cloud labeled 'ずれ' (Gap) points to the 'Learning Standards' section. A third cloud labeled '具体的な姿' (Concrete Appearance) points to the 'Learning Standards' section. A fourth cloud labeled 'ずれ' (Gap) points to the 'Learning Standards' section. The document also features a 'Phase 2 Case' section with a diagram of 'Living Power' (生きる力) and 'Competence' (資質・能力).

更新中

資質・能力  
イメージ図



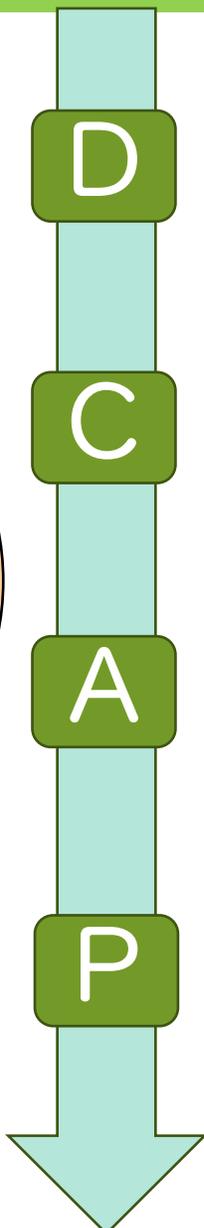
令和8年度版  
資質・能力  
系統表



協働文化の  
醸成

# 4 研究のまとめ

来年度への準備

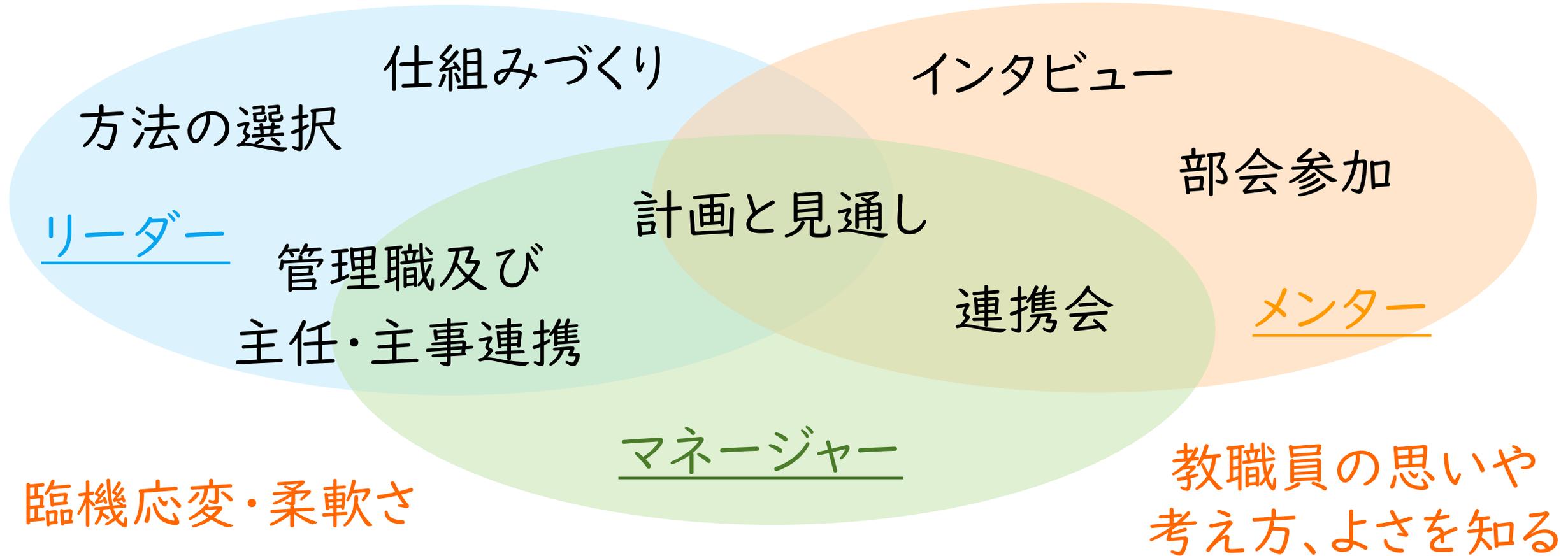


|          | マネジメント<br>サイクル | 内容              | 筆者のかかわり                           | 場の設定                                                  |                   |
|----------|----------------|-----------------|-----------------------------------|-------------------------------------------------------|-------------------|
| 11月      | サイクル1          | Plan            | 後期研究趣旨説明                          | 趣旨説明プレゼン<br>取組・反省シート、資質・能力系統表の提案                      | 管理職・主任・主事会        |
|          |                | Do              | 音楽発表会取組                           | 授業観察                                                  | 授業等               |
|          |                | Plan            | 後期研究趣旨説明                          | 趣旨説明プレゼン<br>取組・反省シート提案                                | 校内研修              |
|          |                | Check           | 音楽発表会反省                           | 担当者と反省シートの様式改善・相談                                     | 学年会               |
| 12月      | サイクル2          | Action          | 音楽発表会部会反省                         | 記録者として参加<br>反省シートの内容の検証・通信の発行                         | 生徒指導部会            |
|          |                | Plan            | 第2学期行事等計画                         | 事前に主任・主事と打合せ、取組シートの作成相談                               | 3部会               |
|          |                | Do              | 第2学期取組・お楽しみ会・学力テスト・体力づくり          | 授業観察                                                  | 行事・授業等            |
|          |                | Check<br>Action | 各取組反省各部会反省                        | 担当者と連携、反省シートへの記入内容の検証・通信の発行                           | 学年会<br>3部会        |
|          |                | Check<br>Action | 第2学期末資質・能力評価改善研修                  | 研修担当<br>第2学期分の反省シートの集計<br>各部主事と事前連携<br>新たな資質・能力系統表の作成 | 校内研修              |
| 1月<br>2月 | サイクル3          | Action          | 第3学期提案行事等計画書作成                    | 事前に主任・主事と打合せ、取組シート作成相談                                | 3部会               |
|          |                | Do              | 第3学期取組・異学年交流・校内授業研究・体力づくり         | 授業観察                                                  | 行事・授業等            |
|          |                | Check<br>Action | 各取組反省各部会反省                        | 担当者と連携、反省シートへの記入内容の検証・通信の発行                           | 学年会<br>3部会        |
| 3月       | 来年度へ           | Check<br>Action | 年度末資質・能力評価改善研修                    | 研修担当<br>2学期分の反省シートの集計<br>各部主事と事前連携                    | 校内研修              |
|          |                | Plan            | 令和8年度版資質・能力系統表完成<br>次年度提案行事等計画書作成 | 校内研修を受けて、令和8年度版資質・能力系統表作成                             | 管理職・主任・主事会<br>3部会 |

# 成果と課題

評価・改善の仕組化

取組・反省シートの改善



明確な方向性の提示  
教職員の意見を大切にする姿勢

# 参考文献

- ・文部科学省(平成29年告示):「小学校学習指導要領」
- ・文部科学省(平成30年):「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説総則編」東洋館出版社
- ・Lorraine,S.(2004):“Collaboration:A Framework for School Improvement”, International Electronic Journal for Leadership in Learning, vol.8, no.5
- ・小田郁予(2023):「子ども支援をめぐる教師間協働における多様な役割遂行—立場や経験の異なる教師間の協働はどう達成されたか—」「日本教師教育学会年報」32
- ・Hargreaves,A.&Dawe,R.(1990):“Paths of Professional Development; Contrived Collegiality, Collaborative Culture, and the Case of Peer Coaching”, Teaching and Teacher Education, vol.6 (3)
- ・中留武昭(2001):「学校における協働文化の形成とその戦略」「教育経営学研究紀要」5
- ・独立行政法人教職員支援機構(NITS)(令和7年):「学校の教育目標を具現化するカリキュラム・マネジメント」校内研修シリーズNo.168オンライン研修教材p.9【[https://www.nits.go.jp/materials/intramural/files/168\\_001.pdf](https://www.nits.go.jp/materials/intramural/files/168_001.pdf)】
- ・中央教育審議会(令和4年):「「令和の日本型学校教育」を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について～「新たな教師の学びの姿」の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成～(答申)」